



3年ぶりに総会を開催

令和4年5月28日（土）、東京新潟県人会館において、城下町新発田会の総会が開催された。コロナ禍により活動を休止してきたため、令和元年5月以来、3年ぶりの開催となった。

2部の懇親会には、新発田市より伊藤純一副市長・若月学市議会議員、東京新潟県人会からは細井ミツ子副会長の3名が来賓として出席。会員は、久々の再会に旧交を温めた。



何気ない日常のありがたさ



小野悦男会長

たいへんお久しぶりです。3年ぶりの総会になりますが、この間、ウイルス禍でほとんどの活動を休止してまいりました。仕方のないこととはいえ、皆さまの消息にたいへん気を揉んでいました。

そうした中で、昨年に栗原さん、柄澤さん、大多喜さん、3名の会員が逝去されました。たいへん悔やまれますが、この場をお借りしてご冥福をお祈りいたします。

さて、何気ない日常のありがたさに感じ入った3年間でした。いまだにコロナは終息したとは言えませんが、城下町新発田会も「ウイズコロナ」の言葉にありますように、少しずつ活動を再開していきたいと考えています。みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

門前町プロジェクトを推進



若月学
市議会議員

新発田市では、大倉喜八郎翁の別邸「蔵春閣」を駅前に移築し、付帯設備の整備が進んでいますが、これを契機に「越後新発田門前町プロジェクト」として、周辺のエリアを観光拠点とした新しいまちづくりを進めています。

ふるさと新発田にお帰りの際には、ぜひ駅前周辺を散策いただき、新発田の魅力をご覧になっていただきたい。

新発田祭の実施が決定



伊藤純一副市長

コロナ禍のため、2年半ぶりに上京いたしました。

3月には成人式を行いました。久しぶりに旧友と会える機会、首都圏からの出席も含め大勢の新成人が集まりました。今年のお盆には安心してふるさとに帰省していただけることを願っています。

昨日、しばた祭実行委員会が開かれ、今年の開催が決定しました。パレードや民謡流しなど、感染症対策を徹底したうえで、行事を行う予定ですので、ぜひお越しいただきたい。

日ごろからふるさと納税には、多大なご協力をいただき感謝申し上げます。同納税協力者には「新発田牛」、お米コンテスト優勝者の「チャンピオン米」、新発田農業高校の「はざがけ米」など、魅力ある返礼品を用意していますので、いっそうのご協力をお願いいたします。

会員の交流を活発に



細井ミツ子
東京新潟県人会
副会長

東京新潟県人会では、会員の交流や活動を活発にし、その輪がますます大きくなることを願っています。そこで、県内を13のブロックに分けて、それぞれの郷人会との意見交換をする予定です。県人会、郷人会ともに発展することを願っています。

二階堂馨新発田市長のメッセージ (要旨)

本日は、城下町新発田会の総会の開催、誠にありがとうございました。城下町新発田会の皆様には、平素から当市に対して、物心両面にわたりご支援とご協力をいただいていることに深く感謝申し上げます。

これまで「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」を掲げ、「健康長寿」「少子化対策」「産業振興」「教育の充実」の4つを柱として、まちづくりに取り組んでおりますが、長引くコロナ禍により、思い描いたように事を進めること、先を見通すことが難しい時代になったと感じております。

我々はこれまでまちづくりの常識だと思っていたことを一度リセットし、「ウイズコロナ」「コロナとの共存」という考え方を加え、改めて「住みよいまち日本一 健康田園文化都市・しばた」の実現に向け、先を見据えながら、勇気をもってまちづくりに取り組んでまいります。城下町新発田会の皆様におかれましては、引き続きお力添えを

賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、大倉喜八郎翁の向島別邸「蔵春閣」の移築工事については、現在付帯設備工事を進めております。一般公開が始まりましたら、ぜひとも皆様にもお立ち寄りいただき、明治から大正にかけて築いた変化と飛躍の時代の空気を感じていただきたいと思います。

結びに、本日までご参集の皆様のご健勝と城下町新発田会のますますのご発展を祈念申し上げあいさつとさせていただきます。



新発田市
二階堂 馨 市長

城下町新発田会新役員

相談役	築井 松治 (宮古木)	会計監査	近藤 民代 (上三光)
会長	小野 悦男 (上羽津)	書記	前原 恵子 (上楠川)
副会長	小野 英子 (材木町)	副広報	武藤 和男 (諏訪町)
副会長	築井 誠一 (会計兼任、田貝)	幹事	齋藤 常夫 (岡屋敷)
副会長	岩村 英輔 (広報兼任、桑ノ口)	幹事	西野ヤス子 (早道場)
幹事長	松川 吉男 (下三光)	幹事	大山 康一 (本町)
副幹事長	若月 茂 (小戸)	幹事	長谷川敏史 (諏訪町)
副幹事長	秋葉 要 (山崎)		以上 15 名

江戸屋餅菓子舗
 店：新潟県新発田市中央町3-8-9
 Tel 0254-22-3942
 定休日：火曜日 営業時間：9:30-18:00
 工場：新潟県北蒲原郡聖籠町蓮湯 3397-1
 Tel 0254-27-3390 Fax 0254-27-3356

新発田市諏訪町3-1-7
 TEL 0254-22-2350/FAX 0254-23-6233

国際認証取得圃場で栽培された「越後産」の安心・安全なお米を生産・販売いたします

農地所有資格法人
有限会社 アグリシステム
 〒959-2517 新潟県新発田市豊691番地
 TEL:0254-28-2500 FAX:0254-28-2131

手づくりの藍染め小物や手描きローケツ染めインテリア商品を真心こめてお作りします

染色工芸藍染
泉屋染物店
 〒957-0052
 新潟県新発田市大手町1-7-2
 電話 0254(22)3216
 FAX 0254(22)1026
 HP <http://izumiya-aisome.com/>

創業明治三十五年
みやむらの麩
 親から子に
 伝わる味
 おふくろの味
 祖母の味
 ふる里の味

(有)宮村製麩所
 〒957-0356 新潟県新発田市岡田1807-6 食品団地内
 TEL 0254-22-2950 FAX 0254-26-5415

ごまんじゅう ◆ くるみがんじき

手づくりの白い肌風味豊かなごまの香りの「ごまんじゅう」。もち、ごま、こしあんの素朴な味をお楽しみ下さい。「くるみがんじき」はくるみを水飴でつなぎ、海苔で巻いたお菓子。加賀の食文化が新発田に入り、今では、地域に根ざした郷土菓子のひとつとなりました。

有限会社 和泉屋
 〒957-0053 新発田市中央町2-1-17
 TEL.(0254) 22-3289 FAX.(0254)22-3900
 〈営〉9:00~18:30 〈休〉元日
 ※売り切れ次第、閉店17:00とさせていただきます。

関西新潟県人会会長は新発田市出身

関西新潟県人会（大阪市）は、新潟地震の年である昭和39年に創立した。その第8代会長である小谷野達雄会長（81）は、新発田市五十公野の出身。

染物屋の次男として生まれ、新発田商業高校を卒業後、青雲の志を抱き上阪、昭和35年（株）寺内入社、同38年豊中製袋工業所を創業、同42年に株式会社コヤノを設立し現在に至る。同社が開発した表面保護剤「コヤノフロン」は、あらゆる材質にコーティング可能で、耐久性と美しさを高めることができる。

平成10年にはコヤノ美術館（古い庶民の愛用品を展示）、同20年にはコヤノ美術館西脇館（豪農の館）を開館、両館の館長も務める。



寄稿

「新潟魂」

小谷野 達雄

私は、北蒲原郡五十公野村、会津街道通りの染物屋の次男として生まれました。それなりに良い暮らしをしていましたが、小学校4年生頃、父母が病気になる、栄えていた店はしだいに厳しくなりました。そんな中で、私にたえず勇気を与えてくれたのは、店の前に広がる二王子山でした。朝起きて見る二王子山は雄大で神々しく、「頑張れ」と励ましの声をかけてくれているようでした。



二王子山

私の通った小学校は五十公野城の跡地に、中学校は新発田藩の別邸として建てられた五十公野御茶屋の庭園の中に建っていました。父からはよく、五十公野城主・五十公野道如斎は上杉景勝との戦いに敗れたが、結束と粘り強さのある戦いをした人だったとか、大倉喜八郎の商人としてのたくましさなど、誇るべき新潟人の精神を聞かされました。そうして育った私は、商売をしたい、商売をするなら大阪だと、単身で大阪に出てきました。

大阪に出て最初に困ったのが方言です。ズーズー弁で人によく笑われ、恥のかきっぱなしでした。しかし、遠い大阪まで出てきた私はそんなことではめげず、仕事を探しに歩きまわりました。まずは吹田市のアサヒビールへ面接に行き、嬉しいことに合格をいただきましたが、喜んだのもつかの間、身分保証人がないことを理由に断られ、

失望しました。それでも再度挑戦と意気込みます。私の実家は染物屋だったので、衣料関係の仕事が良いと考えました。当時大阪では「衣料は大西か寺内か」と言われているのを聞き、寺内株式会社に面接を乞いましたが、案の定断られました。こうなると、どこへ行っても同じ結果になると考えて、寺内株式会社の玄関に三日間座り込み、三日目について社長らしき人の目に留まり、「お前何してるんや」と声をかけられました。「実はこの会社で働きたいんです」と進言したところ、社長は私の目をじっと見つめて一言「よーしやってみい」と言われ、晴れて私は寺内に入社することができました。

仕事はまず営業からと言われ、訳も分からずに無我夢中にお客廻りをし、商品について訴え続けた結果、意外と営業成績も良く、順調にやってくることが出来ました。恐らく、若かったということもあり、大口の得意先に可愛がって頂いたからだと思っています。

しかし、数年勤めたところで、部長との意見の相違で退職することを決意しました。私の退職については、なかなか社長の決済が下りず、三か月が過ぎ、他社に勤めないという条件付きでやっと退職させていただくことになり、昭和38年12月28日に会社を立ち上げ、独立することになりました。

その後も、様々な困難がありましたが、新潟魂と根性で頑張り、また、様々な出会いに支えられ、おかげ様で株式会社コヤノは今では美術館を作るまでに成長し、毎日が感謝の日を過ごしております。



豪農の館

表参道・新潟館「ネスパス」に JA北越後が出店

5月20日・21日、表参道のネスパス（新潟県のアンテナショップ）に、新発田市からJA北越後が出店、旬の「アスパラガス」や特産いちご「越後姫」を中心に自慢の逸品を販売した。

城下町新発田会からも会員が集合し、ふるさとの農産物などの買い物を楽しんだ。



(JA北越後のfacebookから抜粋)

TOPICS

トピックス

社会福祉協議会よりお礼状

総会に際し、城下町新発田会の会員に持参いただいた使用済み切手約1240枚の寄贈に対し、新発田市社会福祉協議会（白田久由会長）よりお礼状が届きました。

ふるさと訪問のご案内

6月度の城下町新発田会の役員会において、ふるさと訪問の実施日が決定しました。

実施日：令和4年10月16日（日）・17日（月）

※行程、料金等詳細は追って連絡いたします

編集後記

◆コロナ禍での自粛が始まって、2年半が経ちました。最近では、徐々に平常に戻りつつあるように見えますが、実は長い巣ごもりや運動不足で、心身ともに影を落としているようです。ふるさと会も活動の休止が相次ぎ、徐々に後退しているのが現状です。

城下町新発田会では、会員各位のご提案もいただきながら、活動機会を増やし活性化を図っていきたくと考えています。

◆3年ほど帰省を控えてきましたが、今年こそは新発田に帰って、お墓参りはもちろん、この間の不義理の埋め合わせをしたいと思っています。大倉喜八郎翁の別邸「蔵春閣」にもぜひ行ってみたい。（来春4月公開予定）（小）

結納、ご法事各種ご宴会・パーティにご利用下さい。

〒957-0057 新発田市御幸町1丁目1の1

刺土 志まや

電話 (0254) 22-2102(代)
FAX (0254) 26-3430

JA北越後 農産物直売所

美味しいお米はJA北越後で

営業時間/9:00~18:00 定休日/火曜日
冬季営業時間(12月~3月)/10:00~17:30
http://shop.ja-kitaechigo.jp/
JA北越後オンラインショップ 検索

土地・建物・売買・仲介
千葉県知事免許(12)第5435号

三光建設株式会社

代表取締役 松川 吉男

TEL: 047-396-0161(代)
FAX: 047-396-0162
千葉県市川市富浜 1-6-20

No.5 農事組合法人二王子

品目
メロン、チンゲン菜

住所
〒957-0347 大字大友3836

TEL
(0254)25-3488 (事務所) メロン……10月中旬~2週間
(0254)25-2285 (代表者宅) チンゲン菜…1月下旬~2月下旬

庭園カフェ いらしま

新発田市諏訪町3丁目1番17号

くだもの生産直売
ぶどう、りんご、西洋梨、桃
果実加工

高橋農園

〒959-2506
新潟県新発田市横山149番地
直売所FAX兼用 0254-29-2287
E-mail kenta@muse.ocn.ne.jp

果物の地方発送
西洋梨ルレクチェの贈答

大切な方への贈り物にはお米を!

産地直送でお米・新潟県産コシヒカリのお取り寄せならおの米店へ

おの米店

美味しいお米を販売

TEL 0254-25-2434
TEL 090-5197-8067
8:00~21:00